

平成 29 年 4 月 24 日
九州電力株式会社

国際協力機構「キューバ国再生可能エネルギー導入にかかる 情報収集・確認調査」を受託しました

当社はこのたび、グループ会社の西日本技術開発株式会社と共同し、独立行政法人国際協力機構より、海外コンサルティング案件として「キューバ国再生可能エネルギー導入にかかる情報収集・確認調査」（本調査）を受託しました。

本調査では、キューバ国の離島「青年の島」^{*1}における再生可能エネルギー導入の基本計画を策定し、加えて同国本島では、老朽化が進んでいる火力発電設備の更新、効率改善等のニーズ確認や、電力設備の塩害・ハリケーン対策の助言等も行います。

当社が九州で取り組んできた離島の電力供給^{*2}や近年急増している再生可能エネルギーの受け入れで培ってきた系統安定化技術、火力発電の高効率運用、さらに島しょ地域を含む海外で蓄積してきた電力・エネルギーに関する国際的な知見等を活用し、キューバ国の再生可能エネルギーの導入促進と電力安定供給の向上に貢献します。

本調査では、当社の関係技術部門だけでなく、今年 4 月よりコンサルティングの実施機能をはじめ、海外事業推進体制を強化した株式会社キューデン・インターナショナル^{*3}も参画し、グループ総合力で相手国の課題やニーズに対するソリューションを提供し、九州電力グループの新たな事業機会の創出を目指します。

- *1 青年の島：キューバ国南西部に位置する同国最大離島（面積：2,419 km²、人口：約 8.6 万人）で日系移民が多数居住
- *2 離島の電力供給：当社は国内 24 島で内燃力発電所（設備容量総計：392,010kW）を運営（設備容量ベースで全国の約 5 割のシェア）
- *3 株式会社キューデン・インターナショナル：海外電気事業を推進するため、平成 11 年 8 月に設立した当社 100%子会社（代表取締役社長：掛林誠）。今年 4 月、海外エネルギー事業と海外コンサルティング事業を推進するため体制を強化

[別紙資料] 本調査の概要

以 上